さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

顔

全国高校総体バスケットボール男子で
県勢初優勝を飾った日本航空高監督

山本　裕さん

自主性尊重 可能性を実感

北海道で開催されている全国高校総体（インターハイ）のバスケットボール男子で、日本航空を初優勝に導いた。山梨県勢が高校バスケの大会で日本一となるのは初めてで、「びっくり。すごいことになった」と目を丸くした。

昨年までは中学教諭として山梨北、塩山などを県王者に導いた。中学生クラブチーム「山梨クィーンビーズアカデミー」で指導にあたるべく、4月から日本航空高の職員に。当初は男子バスケ部のアシスタントコーチを務めていたが、5月に前監督の退任に伴い監督に就任した。

「中学生と違い高校生は半分以上大人。いろいろ言い過ぎず、自由さもある中で指導した」。指揮を執ってからは選手たちが積み上げてきた戦い方を「整理」した。最初の大舞台である6月初旬の関東高校体育大会で県勢初優勝。約2カ月後、勢いそのまま日本一まで駆け上がった。

インターハイでは初戦の2回戦の東海大諏訪（長野）、準決勝の開志国際（新潟）、決勝の東山（京都）といった名門校と戦う選手に「自分たちのバスケをすること」を求めた。優勝後のインタビューでは「こんなに落ち着いて、やり通してくれると思わなかった。高校生の可能性を感じた」と目を細めた。

上野原高を卒業後、指導者を志し都内大学の通信課程で教員免許を取得。日中は勉強、夕方は母校の塩山中で外部コーチを務め、午後9時から午前6時までファミリーレストランでアルバイトという生活をしたのは19歳のとき。指導者人生40年の節目の年を、最高の結果で飾った。

指導の原動力は、山梨を強くしたいという思いだ。「これをきっかけに中学、高校バスケがもっと盛り上がってくれれば」。そのために、これからもチームを鍛え続ける。

〈藤原智希〉

やまもと・ひろしさん　日本航空高職員。甲州市在住。59歳。

（2023 年 8 月 8 日付 山梨日日新聞 9 面）

問1　インターハイのバスケットボール男子で、日本航空高が山梨県勢初の日本一になりました。山本裕監督は、いつから日本航空高の監督を務めていますか。

問2　いままで中学生を指導していた山本監督は、高校生を指導することで、どのように指導方法を変えていきましたか。

問3　山本監督の指導の原動力は、どのような思いからでしょうか。

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2023 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.